

# SAMURAI CLASSIC

## 信長や龍馬も聴きたかった(かもしれない)クラシック!?

津軽三味線の若き名手・浅野祥と、ピアノ杉浦哲郎、ヴァイオリン岡田鉄平のデュオ「スギテツ」による異色タッグ! もしも日本に鎖国政策がとられていなかったら、こんな音楽が生まれていたかも?

誰もが知っているクラシックの名曲を、様々な音楽や環境音とマッシュアップ(=融合)させるピアノとヴァイオリンの人気デュオ「スギテツ」と、津軽三味線全国大会で3連覇を果たし殿堂入りし、日本のみならず世界各地で演奏活動を繰り広げる津軽三味線奏者・浅野祥。

2014年に、西洋音階でできているクラシックの名曲を日本の伝統的な「和音階」にアレンジしたアルバム『SAMURAI CLASSICAL MUSIC』を「スギテツ with 浅野祥」名義でリリースしたのを機に、コラボレーションのステージを重ねてきた彼らによる、日本と西洋の伝統音楽をマリアージュした不思議な世界をお届けします。



### 浅野 祥 (あさの しょう)

1990年、宮城県仙台市出身。祖父の影響により、3歳で和太鼓、5歳で津軽三味線を始める。その後、三絃小田島流二代目小田島徳旺氏に師事。

7歳の時、青森県弘前市で開催される津軽三味線全国大会(現在の大会名は津軽三味線世界大会)に最年少出場し、翌年から各級の最年少優勝記録を次々と塗り替える。2004年津軽三味線全国大会、最高峰のA級で最年少優勝(当時14歳)。その後、2006年まで連続優勝し、3連覇を達成。同大会の規定により、殿堂入りを果たす。さらに和楽器奏者としては初めて日本最大級の音楽フェス「MONSTER baSH」に3年連続で出演するなど、様々な野外ロックフェスやジャズフェスにも積極的に出演。本来の民謡、古典芸能の追及はもちろんのこと、幅広い世代に三味線の魅力を伝えるべく、津軽三味線の可能性を追い求め続ける“孤高の若き津軽三味線奏者”である。[公式HP] <http://sho-asano.com/>

### スギテツ

杉浦 哲郎 (すぎうら てつろう) \*ピアノ・作曲・編曲

岡田 鉄平 (おかだ てっぺい) \*ヴァイオリン

「クラシックを遊ぶ音楽実験室」をテーマに、聴くだけでなく観て楽しいコンサート活動をするピアノとヴァイオリンのデュオ。

『題名のない音楽会』等の音楽番組にも度々出演し、東京フィルなどとも共演。近年ではNHK Eテレの教育番組『おんがくブラボー』レギュラーなど、次世代に音楽の楽しさを伝える役割も担い始め、学校公演などの実績も数多い。

2014年には「輝く! 日本レコード大賞 企画賞」を受賞。「クラシックで笑顔を創る」をモットーに、年間100本を超えるステージを全国各地で展開している。

[公式HP] <http://www.sugitetsu.com/>



本公演は、新型コロナウイルス感染予防、および拡大防止の対策を講じて開催いたします

最新の情報は、民音公式サイト (<https://www.min-on.or.jp/>) をご確認ください

〈主催者の取り組み〉●会場内の消毒、換気を定期的に行います ●入場時、お客様に検温とアルコール消毒を実施いたします

〈お客様へのお願い〉●37.5度以上の発熱や風邪の症状、味覚・嗅覚障害等、体調不良のお客様はご来場をお控えください ●会場内ではマスクを着用の上、咳エチケットにご協力ください ●入退場時などは混雑を避けるため、スタッフの指示に従い移動ください

※感染拡大防止のため、必要に応じてお客様の情報をお聞きし、保健所等の公的機関に提供する場合がございます



民音公式サイト